

★神戸っ子 トラベルコーナー

神戸っ子海外旅行ご案内

★スイスでより美しく(フィッティングスクール)
＜5月21日～6月6日＞

費用/¥720,000

定員/10名

スイスのインターレーケンにあるデラックス
ホテル「グランドホテル」にて貴女を頭の先より
足の先まで美しく光り輝かせましょう。その
後2日間はバリエで休んで帰国の予定。ぜひご
参加を。



★レオナルド・ダ・ヴィンチ(イタリア豪華客船
33,500トン)地中海の旅

＜7月6日出発。パリ、ニス、モナコに立寄
り、ジェノアより乗船＞

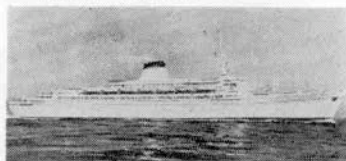
費用/¥940,000(船室により費用が変わるこ
とがあります)

定員/10名 ファーストクラス、シャワー付2
人部屋

スケジュール

7月10日 ジェノア発

7月11日 バレロモ(シシリー島)着
7月14日 マディラ着
7月15日 ラスバマルマス(キャナリーアイラ
ンド)着
7月16日 カサブランカ(モロッコ)着
7月20日 ナポリ着
7月21日 ジェノア着



イタリアの豪華客船「レオナルド・ダ・ヴィンチ」
お問合せ、ドットウェルトラベルサービス神戸。
TEL 078 (251) 0021。担当島村

★独立の地を訪ねるアメリカ10日

＜7月23日(金)～7月30日(金)～8月6日
(金)＞

費用/大人 ¥488,000 小人 ¥440,000

東京→ニューヨーク→ボストン→ワシントン→
ニューポート→ニューズウィリアムズバーガー→
リッチモンド→シカゴ→ロサンゼルス→東京
全行程3食付。ただし終日自由行動日の昼食
を除く。

★サンフランシスコ6日間

出発日/6月11日(金) 大阪発

費用/¥198,000

★ハワイ6日間

出発日/6月22日(火) 大阪発

費用/¥138,000

★好シーズンのヨーロッパバリ8日間

出発日/5月15日・7月3日・6日・10日

費用/¥238,000

日本旅行神戸中央海外旅行センター 078(321)1310

★香港4日間

5月27日(木)～5月30日(日)

費用/¥60,000 定員/30名

大阪→香港→大阪

全行程3食付。ただし3日目の昼食は除く

ホテルは2人1室

マカオ観光は別途金にて募集

★ロスアンゼルス6日間

日程/6月18～23日

大阪→東京→ロスアンゼルス→東京→大阪

40名・食事なし

費用/¥168,000

★カナダ7日間

日程/6月1日～7日

東京→バンクーバー→ジャスパー→バンフ→バ
ンクーバー→東京

費用/¥268,000

★ハワイ6日間

日程/6月25日～30日

大阪→東京→ホノルル→東京→大阪

40名

費用/¥138,000

近畿日本ツーリスト株式会社 (078)391-2847～9

★朝日友の会特別企画

アロハ・ハワイツアー 4泊6日コース

大阪より¥145,000円

出発日/5月13日(木)・5月21日(金)・5月

25日(火)

大阪→東京→ホノルル→東京→大阪

お誘い合せグループでお申し込み下さい。

朝日海外旅行株式会社

お問合せ、お申込みは神戸っ子トラベル係へ

TEL 078 (331) 2246

KP 小泉パーティのご案内



第2回パーティより(3・13)

★結婚を希望する男女に交際場を提

供し、良きパートナーを見出すお手
伝いをいたします。

★会員相互の理解を深め、親しみを増
すための家族ぐるみのパーティを開
催いたします。

★結婚に関する一切のコンサルタン
ト、カウンセラーにも応じます。

入会金及び年会費は

・入会金 10000円(必要に応じて調査費
35,000円をお願いす
ることもあります。)

・年会費 10000円

第三回小泉パーティのご案内



日時: 5月8日(土) 午後6時～

所: ニューポートホテル3F

会費: 3,500円

＜申し込みべ切は5月4日まで
お申し込みはお電話か葉書で
お願いします＞

ご連絡・お問い合わせは

神戸市灘区浜辺通6丁目3-13 ニューポート
ホテル1131号 電話078-252-1380

小泉パーティ事務局 毎月休・10:00～18:00

ニュース漫画を描き続けて7000回 〈神戸新聞“笑点”〉

たかはしもう笑品集

発売中

●田辺聖子さん激賞

「孟さんのマンガの特徴は、第一暖かいところがよい。

時として彼の時事マンガに、するどいブラックユーモアがあって、よく諷刺がきいているが、それとても次の瞬間、ニヤリとさせるところがある。私はこれは、古川柳の味わいで、こういうのこそ、オトナの笑いというものだろうと思う。孟さんの人生キャリアが出てくるため、こういう味わいは、老来ますます冴えるはずだ。これからの孟さんのマンガがたのしみになるゆえんである。」

★内容	「最新カラーマンガ」	9頁
	「笑点20年」	36頁
	「似顔絵100人」	54頁
	「ニュースマンガ家的一天」	4頁

¥2,500 (送料200円)

お申込み「たかはしもう出版会」

神戸市生田区東町113ノ1 大神ビル7F 月刊神戸っ子編集部 TEL (331) 2246

送金方法 太陽神戸銀行三宮センタービル支店普通預金 1152704 「たかはしもう出版会」

または月刊神戸っ子あてに現金送金ください。

□連載小説／4▽

播州路

福元 早夫 え・山本 文彦



冬子はぼくのことを、兄ちゃん、と呼ぶ。そう呼ばれてぼくはとまどう。彼女はぼくのことを、幼い子供が親戚や近所の目上の男おきなにおにちゃんと呼ぶような、そんな

気持ちで兄ちゃんと呼ぶのか、それとも、彼女とぼくが異父兄妹である、ということ、ちゃんと識しって呼ぶのか、ぼくはひじょうに戸惑戸惑ってしまうのだ。

お湯をもらってくる、といって、冬子はボットを抱いて食堂へおりていった。窓の外はいぜんとして雨が降りつづいている。ぼくはコタツにこもってかろく目をした。そして、誰にとはなしに構えるような気持で、自分のこころの中をのぞいた。

冬子の知らない世界がそこにある。目として、まぶたのうらがわをじつとのぞきこんでいると、そいつがくつきりとかびあがつてくる。現像液につかった印画紙をみているようだ。ぼくにとって、失われた時の風景とでもいうべきものが、徐々に映像をあらわし、勝手にうごきはじめるのだ。

母親に手をひかれた子供のぼくが、故郷の野道を歩いている。その母は、やがてぼくのものではなくなり、冬子の母となる人だ。

ぼくはまぶたのうらがわで思いだす。そして、溺れてしまわないように注意しながら、のめりこんでいく。

母とふたり、父をさがして海へいったことがある。太平洋戦争が終って二年ばかりがたっていた。父は戦争へいったきり、帰還ってこない。ぼくたちは父を待ちきれずに海へ行ったのだ。

海へいく日、母は暗いうちに土間へおりた。おにぎりをつくり、なかに梅干をいれ、たかな漬の葉っぱでおにぎりを巻いた。

夜が明けると、ぼくたちは険しい山道をくだっていった。母はぼくの手をしっかりとつかんで歩く。ぼくは母の手づくりのごちそうを、風呂敷に背負ってあるく。足どりはすこぶる快調だった。

山間の停留所からバスにのって駅へとほしる。それから汽車にのって、海へむかうのだ。ぼくはともうれしい。深い山と、ガラガラ光るシラス土しか知らなかったからだ。バスは山道を曲りくねって走りぬけ、村の、ちいさな無人駅までぼくたちを連れていった。

駅のベンチでやってくる蒸気機関車待つ。ぼくのころはおどる。トンネルをぬけて汽車がこちらにやって

くる。ぼくは興奮して母のモンペを強くひっぱる。だけど母の顔は暗かった。気がしずみこんで、固い表情をしているのだった。

汽車が汽笛を鳴らす。煙をいっばい吐きながら、ホームにすべりこんでくる。母ちゃん、はよう、はよう、とぼくは母をせきたせた。それから、汽車はぼくらをのせて二時間ばかり走りつづけ、やがて、海の見える街へとたどりつくのだった。

母は港の突堤にしゃがみこんで、頰杖をついたまま、海のはるか彼方を眺めつづけた。そして、なにかしきりにひとりごとをいった。どげんしよう、どげんしよう、と、困っているみたいだった。父の戦死が信じられないのかもしれない。どげんしよう、とぼくを見つめた。

父はなかなか帰還ってこなかった。母は、父の戦死の知らせを信じないわけにはいかなかった。何度目の海で

「……父ちゃんも、母ちゃんも、おらんようになってしもてよかか」

と、ひよんなひとりごとをいった。ぼくは本能的に身構えた。

「祖父ちゃん、祖母ちゃんがおりやつてよかよね……」
と、母は自分のひとりごとで自分てこたえた。うんにやおう、うんにやおう、と動物的な声をあげてはげしくイヤイヤをしながら、ぼくは母にむかっていった。モンペのひぎにすがりついてはなれなかった。

そのうち、母は海へ行かなくなった。ぼくに対する態度もよそよそしくなった。甘えて膝に抱かれようとする、じゃけんにはらいのけた。母の再婚が着々とすすめられていくのをぼくは知らない。

まぶたのうらがわの映像があまりにも生々しく、思わずぼくは目をあけた。いまさら涙などがすはずはないのに、目が、かすかにうるんでいるのが自分でもわかる。

ぼくは自分を嘲笑った。めめしい自己憐憫など、とうのむかしにすて去ったはずではなかったのか。フン、と鼻

を鳴らしてわらった。

しかし、ぼくはどうしても思ひだしてしまふ。突然、母がぼくの前から去っていき、絶望的な気持ちにおそれたあの日のことを。

ぼくはまぶたをとしてふたたび闇の中に目を凝らした。いまでもはつきり憶えている。あれは、春の彼岸のころだった。田んぼには菜の花やれんげの花が咲いていた。太陽がおどろくほどかがやいて、周囲はどこもかしこも明々としている。まもなくぼくは、六歳になろうとしている。

その日、めずらしくたくさんの人がぼくの家に座りこんでいた。親戚の人々やはじめに見る顔が何人かいる。にぎやかだった。だけど、それが、母の嫁入りの宴であることを、ぼくは知らなかった。母の再婚は、まったく秘密だった。いや、ぼくだけがなにも知らなかったのだ。宴が終って、花嫁衣裳にかくれた人が母だと知って、ぼくは頭をハンマーで殴られたような気持ちになった。全身の力がぬけきって、口をぼかんと開けたまま、身動きできない。頭の中の、魂をささえるほそい糸のようなものが、ぶつ、と切れてしまったのだ。

花嫁衣裳にかくれた母が、野道を連れていかれる。母をとりまいた長い列が、菜の花やれんげの中を、バス道へとつづく。ぼくは何も考えることができない。すっかり放心しきって、夢でみているような気分なのだ。

母がぼくから去っていくのを、ただぼんやりと眺めていた。悲しいのか悲しくないのか、わからない。

だが、しばらくして、いいような寂寥感におそわれはじめた。無性に悲しくなってくる。それが、母がぼくから去っていくせいなのか、まだわからない。

ふいに、涙がどつとあふれた。ぼくは母の後を追った。こんどは逆に、何も考えられない。母の後を追わなければならないことだけしか考えられなかったのだ。ぼくは走った。かあちゃん、かあちゃん、と泣きわめきながら、バス停までの道をしゃにむに走りつづけた。

階段をのぼってくる足音がきこえる。冬子かもしれない。ぼくは頭をあげしく振って、まぶたのうらがわの映像を、すばやくうち消した。そして、手の甲で二どばかり目をこすった。

やはり冬子だった。

「一時間ばかり暇をもらったから、ゆっくりしていった」といながら、扉をあけてはいってきた。

「わるいことをしたなあ、仕事中にきて」

「いいながらぼくはたばこをくわえ、マツチをこすった。」

「ええんよ、気にせんでも」

といって彼女はぼくと向いあい、コーヒーカップをならべはじめた。部屋のすみっこにちいさな茶簞笥がおかれている。電気ガマもあり、テレビもある。なにもかもおもちゃみたいにちいさい。机の上に、二〇センチ四方の鏡台がおかれている。十八歳の誕生日に、ぼくがプレゼントしたやつだ。

あらためて冬子をながめると、彼女は、以前にくらべて、ひとまわりもふたまわりも小さくなったように感じる。痩せたなあ、とはいえずに、ぼくはことばをさがした。

目は、生まれつきの二重まぶたで、ぱっちりとき見ひらいているけれど、顔色がすこぶるわるい。病みあがりみたいにしろっぽいのだ。うす化粧のせいだけではない。

そのせいか、コーヒーをいれる冬子の手つきが、ころもとなく感じられる。ぼくは思いきって訊いた。

「おまえ、いま、何キロある……」

冬子は黙ったままコーヒーに砂糖をいれた。本人だつて気にしているのだ。ぼくはことばをかえた。

「……なんだか、ファッションモデルみたいに、すっかりスマートになっちゃってさ」

と、笑いながら、わざと江戸っ子弁でいってやったのだ。すると冬子も笑った。左手で唇をおさえてクスクス



わらいながら、受け皿にのせたコーヒークップをこちらにさしだすと

「ついこのまえまではね」

と、彼女は内緒ごとでもいうような口調でいった。

「……三カ月前やったかな、あのときまではね、三十七キロあったんよ。それがね、いまではね、三十五キロしかないんよ」

冬子はさも口惜しそうに唇をかんだ。

「そうか」

と、ぼくは小声でいって、コーヒークップを口にはこんだ。冬子は、三十七キロに執着をこめていい、三十五キロを憎むようないいかたをした。ぼくはそのどちらにもおどろいて、口がきけなかったのだ。

集団就職列車にのって故郷をはなれ、播州へきてから冬子は五年が過ぎた。その間、彼女は、何回か鋭い叫び声をあげた。そのたびにぼくは、辛抱するように、と、つれない言いかたをしてきた。だけどその我慢が、彼女にとって、いいことであるとは、いまだに思っていない。

ぼくたちは向いあってコーヒークップを飲んだ。冬子は、カップを、両手で抱きこむようにしてのむ。ときどきぼくの方をのぞきこむ。それでいて、こちらの視線とであうとすぐさま目をおとし、こんどは小首をかしげ、はにかんだようにひとりほほえむ。

二〇歳をすぎたというのに、思春期の少女のようなしぐさだ。よく澄んだふたつの目で、ちらっとこちらをのぞきこまれると、ぼくのころはまごついてしまう。兄ちゃん、と、ふいに呼ばれたときのような戸惑いをおぼえて、胸がどきっと鳴ってしまうのだ。

「身体のほうは、もう、大丈夫か……」

と、ぼくはたばこに火をつけながら、なにげなく、とあったふうに訊いた。女として、普通ではなかったころの彼女の体調が、いまだに気にかかっている。

「からだ」と、冬子は反射的に問いかえし、ちよっと考えこむ顔つきをしてから、あ、そうそうと勝手にうなづ

きながら

「いまね、虫歯の治療にかよってるの」

と、こともなげにいった。

そんなことではなかった。ぼくがききたかったのは、彼女の生理のことだった。

出血がはじまると二週間も、へたをすると三週間もつづくという、冬子の、女としても大切な部分についてだった。

それをきいたとき、妻はとびあがっておどろいた。婦人科の医院へ定期的にかよわないとだめだ、と、やかましくいつつけた。

「久美子ねえちゃん心配しとったぞ」

と、ぼくは伝言するようないいかたをした。久美子をもちだして、暗示的なききかたを試してみたわけだ。

「ああ、あれね……」

といったきり、冬子はしばらく黙った。なにやら思案するような恰好に、ちいさな口をとがらして目をおとしていたけれど、けっきょくなにもいわず、口にコーヒーをはこんだ。

「自分の身体は自分で守らなあかんぞ」

ぼくはいった。

「うん……」

といって、冬子は自信なさそうにちいさく笑った。

「もっと自分を大事にせな……」

とぼくはいった。それがせいじっぱいだった。ほんとうは、冬子の奥深い部分にふれたかった。久美子以上に心配しているのだ。もっと親身に、相談にのってやり、世話しなければならぬはずなのだ。

だけどそれができない。相手が女だから、ぼくが異性だから、というただそれだけのせいではない。正直に言えば、冬子にもぼくにも、同じ血液が流れているからだ。そのまっ赤な血を吹きとばしながら、脆弱な冬子が、精いっぱい生きていこうと、歯をくいしばっているからだ。ぼくは冬子に対して、叔父さんの顔つきをたもち

つづけながら、こころのどこかでは、妹なのだと意識しすぎているのかもしれない。

「このあいだね、兄ちゃん」

と、ふいに冬子がいった。

「えっ」と、ぼくは息をのんだ。その拍子に、つかんでいたたばこの灰が膝におちた。

「郷里から手紙がきてね、祖母ちゃん、白内障の手術をしたんやて。うちの母ちゃんがつきそったんやて」

「そうか……」

といいながら、ぼくは八〇歳になる祖母の、褐色にやけきった皺のふかい顔と、冬子の母、つまり、ぼくのまぶたのうらがわの母とをかわるがわる思うかべながら「それで」と、彼女をのぞきこんだ。

「それでねえ」と、落ちついた口調で冬子がいった。

「それで、どうにかこうにか、片方の目だけは見えるようになったんやて」

「片方だけか」

と、ぼくはいって頭をふった。

ぼくを育ててくれた二人のうち、祖父は十年前に亡くなった。ぼくは二〇歳だった。命が尽きるとき、ぼくの手をつかんで、満足そうにちいさくわらった。

母の再婚と同時に、ぼくは祖父母の息子となった。だからごく自然に、実母の弟ということになったわけだ。

「母ちゃんがね、手紙でね、兄ちゃんに伝えてってよ」

「なんて……」

「祖母ちゃんが、兄ちゃんたちの子供の顔を早くみたい、って。孫の顔をみたいんやて」

ぼくは黙った。急に、胸がつかえたのだ。

「うちの母ちゃんもみたいんやて」

冬子はそういうと、いたずらっぽく笑った。

(つづく)



＜神戸っ子愛読者サロン＞

どうもありがとうございます。
これからもますます教養高い内容で、読者に追って下さいね。
では、さようなら。

(ナナシノゴンベ)

☆すいぶんとお話しのお話ですね
美術だけでなくあらゆる分野に
教養高き女性になれんことを。

△編集部V

★初めてお便りします。
私、結構の神戸っ子。雑誌の
神戸っ子は、もっとずっと薄
っぺらな頃から、どういうわけか
病院の待合室や喫茶店は置いてあ
ったのでよく知っていますが、最
近この「神戸っ子」のおかげで大
変な得をしました。

というのは、先日、友人と絵の
話をしていた。「青の時代、赤の
時代」というのはピカソがマラス
かということと口角あを飛ばした
のであります。(どうか皆様、
美術オシンの我々を笑ってください
ますな。)

私はピカソを、友人はマラスを
主張し、それでは間違っていた方
がもう一方にお昼をこ馳走するこ
うなこと、お互い家へ帰って調
べようということになったのです
が……。実は、私はその前日、
「神戸っ子」の「巨人ピカソ追跡
作戦」を読んでいた、自分の
答えに対しては十二分どころか十
五分の確信を持っていたのです。

ですから秘密に言う、家に帰
って調べたのは友人だけ。私はユ
ウユウゴ寝。
結果はご存知の通り、ピカソの
KO勝ち……。

おかげで、お昼から、夜のご飯
にも食べたものない「仔牛のチ
ーズ焼」なるものを口にするこ
とができました。

本当に「神戸っ子」さまさま。



カセドラル寺院 (ミラノ)

☆あなたは北海道へハネムーンへ
行かなくては。△編集部V
★まだ2カ月はかりのミラノ暮し
ですが、神戸の臭いがプンプンする
貴誌を手しにややホームシ
ックを誘発されそうです。

(神戸市ミラノ駐在員 木下敏郎)

★皆様お元気にお願いします。
「ヨーロッパ音楽武術修業」
の第一回「ジュネーブ」から

の便です。片田君のバーで「弾
き唄い」に土地の人や観光客が総
出陣つてられ楽しい一夜でした。
スイスの女性のやさしいこと。ニ
ース、パリ、ロンドン、アムステ
ルダムと廻る予定です。楽しい土
産話が出来そうです。
モンパル登坂バス中で……では
神戸へ帰って来。

(八サントノール 森哲也)

☆バリのシャングリエで唄っている
森さんの姿が目に見えてそう。
トロアードのサントノールでバリ
みやけのお話二歌をきかせて下さ
いね。△編集部V
★す……春の気配です。神戸っ
子三月号ありがとうございます。
15周年記念第五回ブルーメール賞
の人々のさわやかな登場、すばら
しいです。

△編集部V

★「フランクフルト」都市はショッピ
ングエリアから「神戸」の街を想う
と不思議な魔力が最後後のように
まわりを包みます。
ありがとうございます。

(宝珠寺 丸本 明子)

★山はかす、海には観光船が訪
れ煩はそよ風がなでる神戸の春。
「神戸っ子」はそんな神戸の四季
を何よりも早く運んでくる。表紙
を一枚めくればふわっと湧き出で
くる春の香り、遠い昔のれんげ草
の香り、めだかの戯れ、小川のせ
せらぎ。野山を駆けめぐり、もん
しろようと遊んだ暇日。そんな
「神戸っ子」が毎月楽しくて、思
い起す。
今月号はまだかな。

(舞合区 連水順一郎)

★今日送っていただいた「神戸っ
子」三月号を手に入れました。今年
は雪に恵まれず、三度の食事もよ
りもスキーが好きな私にとっては
「粉雪よ！もっと降れ降れ！」と
いう心境です。でも「神戸っ子」
の頁の中からあふれる神戸の香り
に酔ってしまい無性に神戸へ飛ん
で帰りたいのです。

(奥志賀高原スキー場より)

KOBE POST

★三月十日(二十三日)ヨーロッパ

・コペのファッション・プロ
ジェクトチームが、視察の旅に。
牛尾吉朗、木口順、福岡必三、
福井健、植村孝一、大西恒夫、田
畑弘、諸岡博典、小林恒夫、小泉
康夫ら十名で、第一回ヨーロッパ
パ・タッセ視察団として、ドイ
ツ、パリを廻り帰国しました。

★生田神社の福田義文宮司が、二
月二十四日付で、神社本庁より神
職として階層身分一級を授けられ
て、四月七日、正午と午後二部
に分けて生田森の花見宴を催され
ます。

★神戸新聞の畑専一主筆が、神
戸新聞出版センター取締役社長に
就任されました。

★読売新聞神戸支局長の鬼沢昭二
氏が大阪本社へ転任され、井上圭
一氏が後任に岡山より三月五日
着任されました。

★婦人服飾セリザワ 芹沢利雄社
長の70周年を記念して、セリザ
ワが神戸市に、時計を抱いた「グ
イナス像」を寄贈。

★新谷環紀さんの手によるこの作
品は、四月末に完成して、五月十
日に序幕式、東遊園地に飾られま
す。

★三月二十八日、若本起代子さん
(クラブ小方)の長男文夫さん(ち
くせん)と渡辺喜一さんの長女
みずさんとの結婚と、い、オリ
エンタルホテルで結婚されました
おめでとう！

★K・F・Sの会員の酒井正子さ
んが、山本利通さんと二月十日、
神縄の美里教会で結婚されました
★望月美佐さんが、熊の心を書に
と仕舞修業。三月二十一日上田観
世世能堂で、久田徹二さんの指
導による仕舞「熊野」で初舞台。
大変な張りきりようです。

この学校卒業したら
運転上手くなるワ!

吉谷京子さん

「昨年の七月半ばから神戸自動車学院に通って十一月十日に運転免許をとったの。山の道が多いし、この学校卒業したら運転上手になるわ。親戚の人達も皆ここです。」と鮮やかに真赤なカペラを運転する吉谷さんは、とても可愛い20才のお嬢さんです。

おしゃれなレディに
カーライセンス



無線教習の指導室

公安委員会指定・技能試験免除

神戸自動車学院

☎ 581-1207 (代表)

神戸市北区緑町3丁目6番1号
(神鉄山の街下車)

- スクールバス神戸市内送迎
(三宮・神戸駅・湊川・鈴蘭台)
- 保育設備有 ●全車新車

英国パブ

ミスタージャック

安くて安心して飲める店です。
 謝恩会・クラス会・同窓会・学生・グループ・二次会に
 御利用下さいませ。
 150名様まで可。料金御一人様2千円より。
 5:00PM~2:00AM 三宮・三劇前山側大山ビル2F
 ☎332-2128



フレイッシュパブ

ロンドン

MENU (例)

ビール 300
 サントリー〈角〉 300
 サントリー〈オールド〉 350
 ジンフィズ 350

5:00PM~0:00AM

《おつまみ》

付出し 300
 サラミ 300
 チーズ 350
 カマボコ 350

三宮・三劇前山側大山ビル3F ☎332-2527

ボトル料金

サントリージン 2,000
 ビフイタージン 2,500
 サントリー〈角〉 2,500
 サントリー〈オールド〉 3,000



神戸のうまいもん&ドリンキング

★日本料理

讃岐名代うどん **あこや亭**
神戸市舞合区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食 **くれな**
三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494

かっぱう **吉本**
神戸市生田区加納町3丁目95-1
(ニュージャパン別館前) TEL 241-3450

鍋もの・おむすび **悟味西**
お茶漬・おはた
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび **ふる里**
鍋もの
神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼 **ちばな**
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 **夷**
神戸市生田区中山手通1丁目115
生田区東門筋東門会館ビル1階
TEL 331-7770

カニ料理 **婆娑羅(ばさら)**
神戸市生田区北長狭通1丁目18
三宮阪急西口北側レインボープラザ1・2F
TEL 321-6363

Objects D'art **瀬戸**
美術喫茶 **Seto**
神戸市生田区山本通3丁目27の9
瀬戸ビル1F TEL 221-6548

★西洋料理

レストラン **ア・ポロン**
ティー・バー
神戸市舞合区八幡通5丁目6 TEL 251-3231

レストラン **鹿鹿皮<あらかわ>**
神戸市生田区中山手2-9 TEL 221-8547・231-3315

GALLERY & STEAK HOUSE **SAN-MON 三門**
神戸市生田区中山手通2丁目98/99 TEL 331-5817

ステーキハウス **れんが亭**
神戸市生田区下山手通2丁目34 TEL 331-7168

レストラン **セントジョージ**
神戸市生田区北野町1丁目130 TEL 242-1234

レストラン **男爵**
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode **花屋敷**
三宮フラワーロード市役所前 TEL 251-2109

鉄板グリル **きゃんどる**
神戸市生田区北長狭通2-22 TEL 331-1183

レストラン **フィッシャー・マンズ・ポート**
神戸港第4突堤ポートターミナル
TEL 331-0301

居酒屋 **ロス・ヒターノス**
フラメンコショー
生田区下山手通3丁目22
下山手セントラルハイフ
TEL 391-5431

レストラン **ムーン・ライト**
三宮・生田新道 TEL 331-9554
TEL 331-2509

グリル・鉄板焼 **月六**
BARBECUE & STEAK
生田区元町通3丁目
TEL 331-2108

レストラン **スイス・シャレー**
神戸市生田区北野町3丁目48アール・ド・マニョン1F
TEL 221-4343

フランス料理 **ビストロ・ドゥリオン**
神戸市生田区山本通2丁目40-1
TEL 221-2727

ピッツアハウス **ピノッキオ**
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン **フック・東店**
神戸市生田区栄町1-5-3 TEL 321-3207

ビザ&スナック **ガルの店**
舞合区琴緒町5丁目1-7 西山ビル1F TEL 241-9025

ステーキハウス **グリン・青山**
神戸市生田区中山手通2丁目112-2(トアロード) TEL 331-4858

レストラン **フック・神戸店**
神戸市生田区栄町通2丁目24 TEL 321-3453

レストラン **元町・フルーツ・ホール**
フランス料理
元町1番街 TEL 331-1987

ビザ・パブ **ピザ・パテオ**
神戸市生田区元町通1丁目49(元町1番街)
TEL 331-9378

ナイトライト **火の鳥**
神戸市生田区中山手通1丁目27
TEL 242-1330

スカンディナヴィア料理
世界の民族音楽の店 **ゴックスタッド**
生田区山本通3丁目18 回教寺院前
TEL 242-0131

メキシコ小料理亭 **ティファナ**
神戸市生田区中山手通1丁目4ノ12 パール・コーポラスビル1F
TEL 242-0043

ステーキ&ドリンキング **黒牛**
神戸市生田区中山手通2丁目39の36
TEL 241-3739

ドイツ風音楽レストラン **コーベ・ローレライ**
生田区北長狭通6丁目39
TEL 371-0086

ステーキ&ドリンク **神戸館**
神戸市生田区下山手通2丁目29の3
アマツビル1F TEL 321-2955

★喫茶 **にむら珈琲店**
宮・カ・ビ
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872・231-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目135
TEL 391-0669

北野・店・山本通2丁目9 TEL 242-2467
(会員制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶 **ガーデニア**
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F TEL 321-5114

珈琲 **モーツァルト**
神戸市生田区山本通2丁目98 グランド・マニョン1F
TEL 241-3961

ティー&スナック **エポック**
神戸市生田区元町通3丁目(浜側) TEL 331-3694

コーヒースポット **メディタレーニア**
神戸市生田区北長狭通3丁目(トアロード)アーバンビルB1
TEL 331-2050

★club **千**
クラブ
神戸市生田区下山手通り2丁目21 TEL 391-1077

club **飛鳥**
神戸市生田区中山手通1丁目117 TEL 331-7627

club **小万**
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386

club **さ**
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

club **なぎさ**
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

くらぶ **うげん**
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593

club **Moon Light**
BAR TEL 331-0886・391-2696
Club TEL 331-0157

クラブ **るふらん**
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

★STAND & SNACK **スカーレット北野**
お好み鉄板スナック
神戸市生田区北野町2 北野アーバンライフ1F TEL 242-0076

ドリンク & レストラン **ベルビュ・ドール**
神戸市生田区中山手通2丁目101 大洋ビル2F
TEL 321-5677

スタンド **かてな**
生田区中山手通1丁目90 英健ビル1F
TEL 331-1316

洋酒ハウス **雑貨屋**
生田区下山手通2丁目18の6
(生田新道相対タワシ横通) TEL 321-0260

スタンド **グラムール**
生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

スナック&ドリンク **姫**
神戸市生田区中山手通1丁目18 TEL 221-1950

カクテルラウンジ **サヴォイ**
高架山側 テキの店北 TEL 331-2615

DRINKING IS AN ART OF LIFE **ウッドハウス**
神戸市生田区下山手通1丁目32 PHONE 078-241-7320

スナック **ビジービー**
神戸市生田区中山手2丁目 TEL 391-4582

居酒屋 **ボルドー**
生田新道浜側中央KCBビルB1F TEL 331-3575

Wine and something **珍地理屋**
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザ1F TEL 242-0288

サロン **神戸時代**
生田区中山手通1丁目28
モンジャットウコトキビル TEL 242-3567

ナイトイン **おしゃれ貴族**
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザB1 TEL 242-1925

スタンド **くる実**
生田区中山手通1の72 TEL 331-6985

キャンティ
本店洋酒の店 神戸市生田区北長狭通2ノ3
tel 391-3060・391-3010
北店スーパ&パンの店 神戸市生田区下山手通3ノ8ノ9
tel 331-3661

DRINK SNACK **スネカジリッ子**
神戸市生田区下山手通2丁目
水鏡ビルB1 TEL 391-8708

music spot **サン・ノーレ**
トアロード店 生田区下山手通2丁目トア・ロード
tel 391-3822
北野店 生田区中山手通1丁目24-7
ダイワナイトプラザ6F tel 221-3886

素舌洞 **でっさん**
神戸市生田区北長狭通1丁目258
TEL 331-6778

STAND **マシュケナダ**
生田区下山手通2丁目ちやいなタウン地下
TEL 331-5587

スナック **GASTRO**
神戸市生田区中山手通3-20
トア・マニョン TEL 231-0723

ティー&パブハウス **バス・チャーリントン**
生田区北長狭通2丁目(トアロード) TEL 332-1125

純会員制 **エドワーズ倶楽部**
神戸市生田区北長狭通1丁目28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道 TEL 391-3300

サロン **アルバトロス**
生田区中山手通り1丁目24の7
大和ナイトプラザ2F-B TEL 231(3300)

CAFE WHISKY **音楽の家・ETエトワTOI**
神戸市生田区三宮町3丁目 三宮センター街西入口
スカイトアビル3F TEL 332-1755

スナック **山荘**
神戸市生田区北長狭通1丁目22 TEL 391-5823

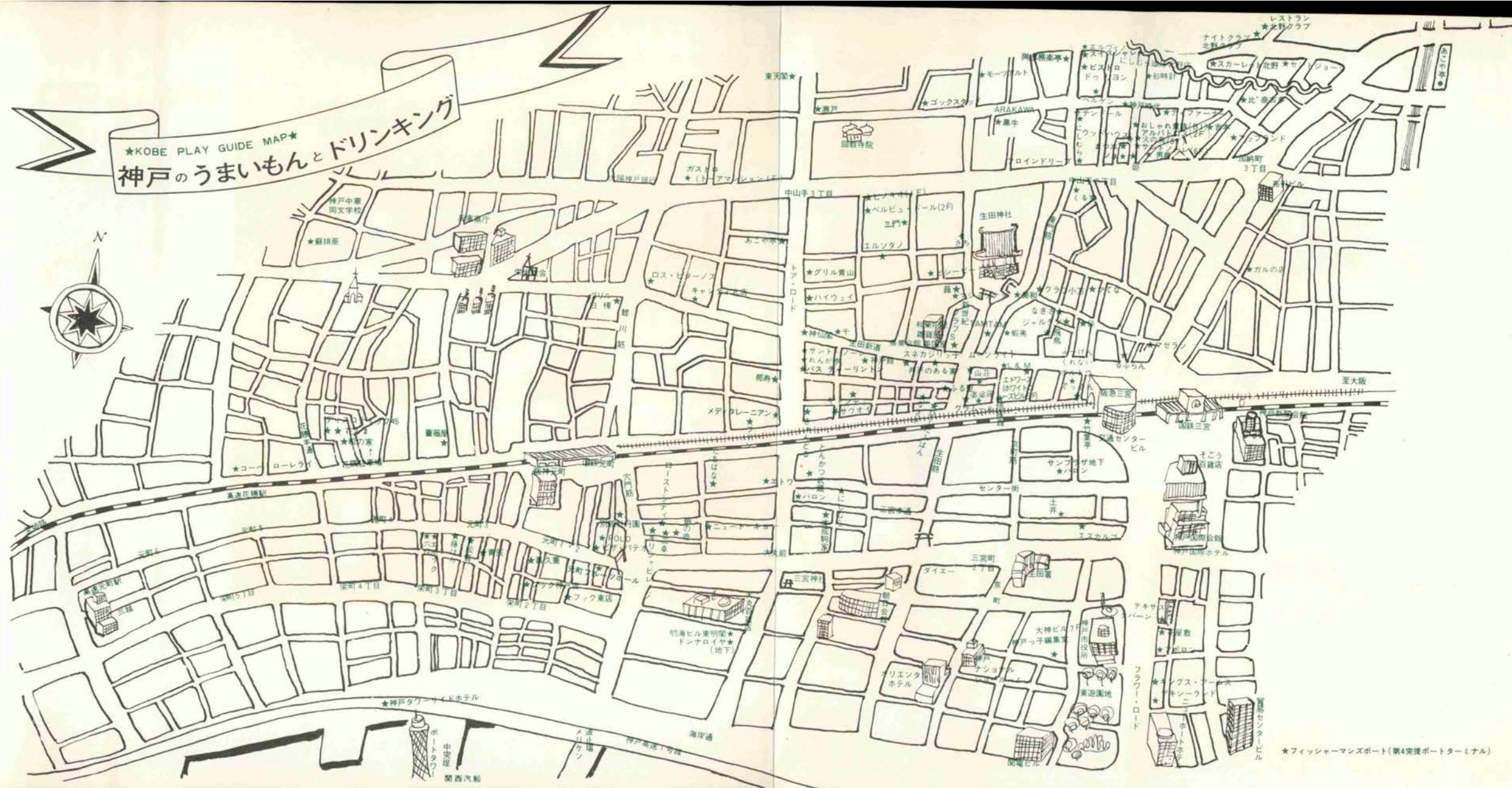
ティ&カクテルラウンジ **ルカカルトン**
生田区北野町3丁目2-67 TEL 241-4323

スナック **興志務楽亭**
神戸市生田区山本通2丁目60パールライフB1
TEL 242-1977

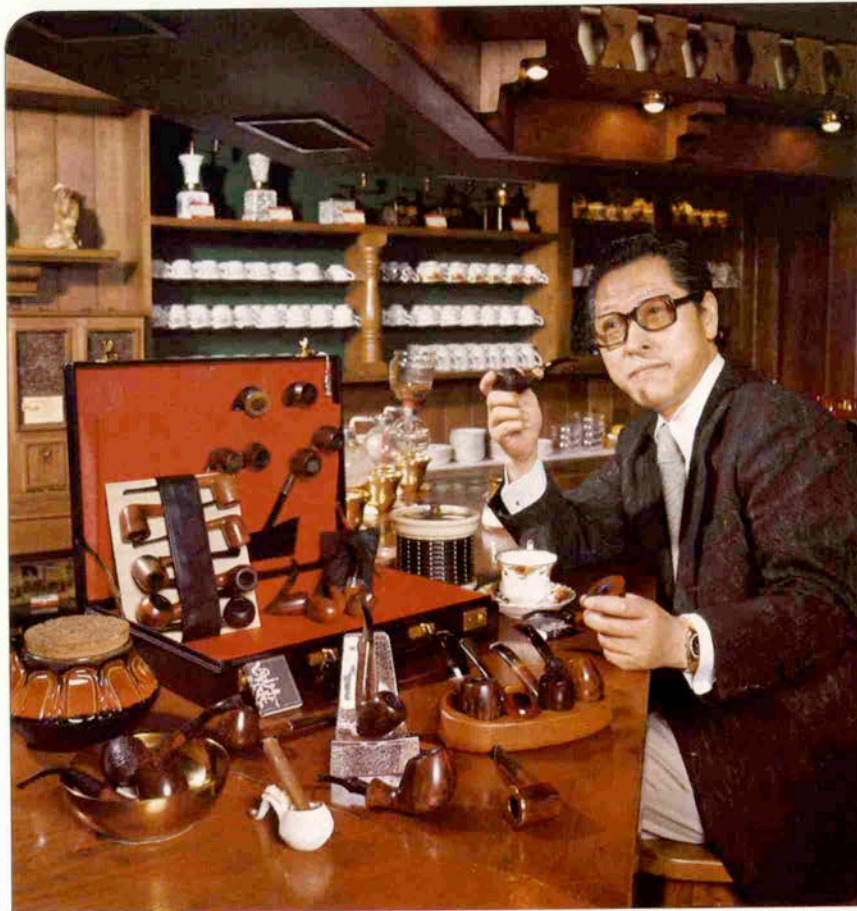
SNACK **L&M**
生田区北長狭通1丁目25 生田新道ビルB1 TEL 321-3070

スナック **美和**
神戸市生田区下山手通1丁目 TEL 391-3050

神戸のうまいもん



★フィッシャーマンズポート(第4突堤ポートターミナル)



baLon antique Series

〈38〉パイプ

奥村 昭和さん

〈神戸パイプクラブ代表幹事
日本パイプクラブ連盟副会長〉

煙草の一番美味しい吸い方——それがパイプなのです。「世の中にこんなに美味しいものがあるのか」というのが煙草との出会い。それでは最も美味しい吸い方は——ということで20年以上ものパイプ党。だから記念のパイプや高価なパイプが揃っているものの「コレクションでも何でもなく《たかが煙草を吸う道具》であり、最も美味しく吸うのが私のぜいたくなんです」と語る。そのぜいたく——自家製のマッチ箱まで持っている。

センター街店にて
カメラ / 米田定蔵



バロン

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんブラザ店
TEL 391-1758 AM11:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ センター街店
TEL 391-1375 AM10:00~PM9:00迄



ライブの店

SATIN DOLL

生田区中山手通1

☎242-0100

PM6~AM4 無休

スナック

プランタン

生田区東門筋

東門ヴィレッジ

☎321-2757



レキント……ユニークな神戸名物になったその響きは、あなたを夢の世界に導いてくれる。『ティファナー』のマネージャー、ケンちゃんの唄とギターが甘くせつなく語りかける。

ジャズを愛するお客様に支えられておかげさまで二周年を迎えました。飲んで食べてジャズを楽しむ店として努力を重ねていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

Night in Kobe

吉川哲夫のギターにリナとサリータの踊りがあなたにお届けするスペインの香り。その情熱的なフラメンコの世界は毎週土曜日(7時より5ステージ)にくりひろげられる。

安く飲めて、楽しく飲んで、春の宵はゆつくりと落ち着いた雰囲気味わえる『プランタン』で、あなたと。各種フライや焼きうどん、鳥光の焼鳥などのメニューも大好評です。



メキシコ料理の店

TIJUANA

生田区中山手通1

☎242-0043

平日PM6~AM2 日祝PM6~PM12 無休

プレイハウス

スペイン広場

生田区北長狭通2生田筋金剛山西入る

☎391-0375(1F)・391-3443(2F)

PM6~AM2 無休





スペインの味と
フラメンコの店

エル・ヴィノ

生田区北野町3
アニルドマシオン1F
☎241-1344
平日PM6~AM2 日祝PM5~PM12 水曜休

ステーキ&ドリンク

神戸館



生田区下山手通2
アマツビル1F (生田新道農業会館向い)
☎321-2955
平日PM5~AM1 日祝PM4~PM10 木曜休



唐揚(手羽先・鳥皮、各六百円)を手にしてマスターの向田さんと語るは、岡崎ビル1F「珈琲館」のマスターとチーフ。「開店以来、味も値段も変わらないのが嬉しいですね」

やさしく快い風がささやく春の北野町のグルカ・カルトン。恋人たちの愛の語らいを演出する白いピアノの音色に気易く飲めて、そして優雅な雰囲気満喫できる夢の館。



カクテルラウンジ



Lucas Carton

生田区北野町3
☎241-4323~4
PM6~PM12 無休

SOUL DISCO THEQUE

Pirate House (海賊の館)

生田区中山手通1
☎242-5561~2
PM6~AM5



最高の神戸ビーフを使った鉄板焼の「神戸館」。そのクラシカルモダンなインテリアに家庭的で暖かい雰囲気は、飲むだけでもゴキゲン。九時~十一時頃が比較的空いています。

踊って食べて飲んで一人平均千八百円で楽しめるソウルデイスコティック。そしてサービス満点。本誌をご持参の女性の方に限り(PM12時まで)無料になります。(4月中)

人情演歌50年を歌う
第 3 回
松江和耶リサイタル
〈神戸のター坊〉



4月25日(日) PM 1:00開演
神戸文化ホール・大ホール
S席2,500円・A席1,500円

●
ゲスト / 織井茂子・金田たつえ
踊り / 加賀光子・加賀政美
友情出演 / 平野こうじ(ビクター)・丘 ゆり子・池 伸二
ゲストプレーヤー / ギター・木村好夫
演奏 / 大前成之とニューコンサート
司会 / 浜村 淳

●
主催 / 松江和耶後援会 後援 / 日本コロムビア
連絡先 / 221-3193、331-3131 (夜間)

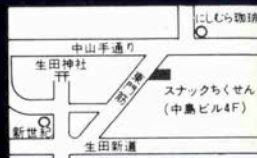
スナック

ちくせん

ちくせんミュージックタイム
神戸のター坊の演歌熱唱
平田正明のピアノ弾き語り

生田区中山手通 1丁目114-1
☎331-3131

近藤正美・岩本文夫



Night in April



SNACK MIZU

神戸市生田区中山手通1-91
盛大ビル1 F
☎ 391-1512

きつぷのいいママは長崎の出身。そのママの手づくりのつき出しは美味しいことで有名。店の内が三角形なのも特徴の一つだ。ロバートブラウン / キープ 7,000、水割 600 PM 5 ~ AM 0 : 30 日・祭日休



くらぶ

朱竹

神戸市生田区中山手通1丁目
古林ビル4 F
☎ 321-0485, 331-2691

開店2周年になる。洗練されたホステスのサービス、そして、歌の好きな方にはレコーディングの設備もある。客層は銀行員とか船舶関係の人などハイクラスである。PM 6 : 30 ~ AM 12 日・祭日休



COFFEE
& SNACK

Julien

神戸市生田区花隈町99-1
☎ 341-5360

夜6時まではティータイム。テーブル席もあって、静かなムードと気軽さで、学生など若い人たちがよく集って来る店だ。ロバートブラウン / キープ 4,000、水割 300 AM 9 ~ AM 1 第1・3日曜休



SNACK

妙子

神戸市生田区中山手通2丁目93
東洋ビル2 F
☎ 321-2666

隣の席の人とすぐ友だちになれるような家庭的で気どらない親しみやすい雰囲気がある。ヤングから年配の人まで客層は幅広い。ロバートブラウン / キープ 7,000、水割 500 PM 6 ~ AM 1 日曜休



PUB & RESTAURANT

UPLANDS

生田区加納町3丁目

1-34

☎241-8271



DRINKING IS AN ART OF LIFE

WOODHOUSE

生田区中山手通1丁目32

山内ビル

☎241-7320・7983

KOBE DRINKING GUIDE

スナック&
ドリンク

姫

生田区中山手通1丁目18

☎221-1950



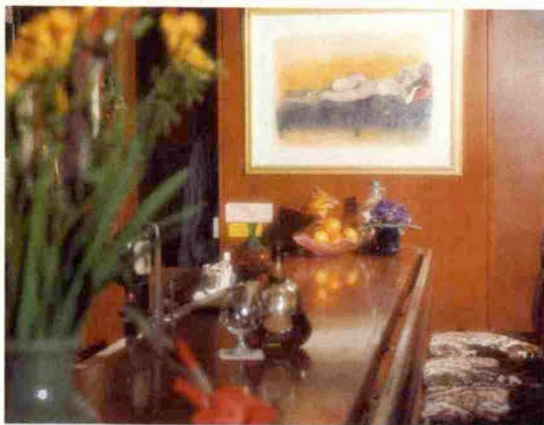
スタンド&スナック

かひ

生田区中山手通1丁目90

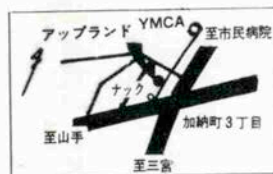
英健ビル1F

☎331-1316



☆今夜は「アップランド」自慢の料理を紹介しましょう。ステーキ&キドニパイ(左)、コーニッシュパースティ(ミートパイ)(中)、ローストビーフ(右)です。いずれも腕自慢のゴックさんがつくった料理ですからきつとお気に召すでしょう。お客さまの良クンと大野さんも、今夜は美味しい料理にご満悦の様子で、自然と話もはずんでいます。英国風料理の味は最高です——とご両人。また、「アップランド」では、毎晩ステキなライブをやっています。7時30分から12時まで、月・水・金曜日はチャーリーのギターとボーカル、火・木曜日はピアノの難波です。土曜日は30分毎にチャーリーと難波がプレイをします。

☆ローストビーフ ¥2,700 シェパーズパイ ¥850 スターキ&キドニパイ ¥800 コーニッシュパースティ ¥600 フィッシュ&チップス ¥600 J & B、OLD各 ¥400 ビール ¥400
平日11:00A.M.~3:00A.M. 祭日6:00P.M.~3:00A.M.
日曜6:00P.M.~0:00A.M. 無休



アップランド

☆春の陽射しがボカボカと、身も心も浮き浮きと、何となく楽しくて、誰かに何かを話しかけたい、そんな季節になりました。「ウッドハウス」に来る面々もスッカリ春の衣替え。チャーリーの歌にウットリしげれたり、きつそくキープしたボトルを友だちにふるまったり、隅の席ではステキなカップルがいいムードだったり……春の「ウッドハウス」は平和なんだなあ……。

なお、ウッドハウスでは今年1月よりキープボトルをしました。ニッカG&Gとスコッチです。ぜひ1本キープしてください。くわしくはウッドハウスでお聞きください。

★ビール(小) ¥400 水割(OLD) フィズ各 ¥500 おつまみ ¥150
スパゲティ・ピラフ各 ¥500

平日5:00P.M.~2:00A.M. 日曜5:00P.M.~0:00A.M.

第1・第3月曜休み

ウッドハウス



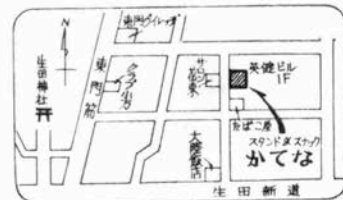
KOBE DRINKING GUIDE

ヒ メ か て な



☆たとえばステキな恋人と巡り会えたとき、彼女を誰かに紹介したいという気持ちと、誰にも知られたい、自分ひとりだけの秘密にしておきたいという気持ちとのジレンマに陥入ることがある。「姫」という店についてもまったくそうだ。仲間を紹介してやりたいのだけれど、しかし、やっぱり自分ひとりだけのとっておきの店にしておきたい……。いうなれば、この店は魅力にあふれたステキな恋人というところなのだなあ……。

☆ボトル/ホワイトホース、カティアーク、リザーブ各 ¥8,500 水割/リザーブ ¥600 ビール ¥400
6:00P.M.~0:00A.M. 日曜祭日休み



☆絵は人の心をなごませしてくれる。「かてな」には神戸の第一級の画家——石坂春生、小西保文、西村功、松本宏らの絵が掛かっていて、マスターの嘉手納好宏さんの絵に対する造詣の深さをうかがわせる。カウンター席だけにしたのも店のスタッフとお客さまとの対話を大切に考えているからだ。嘉手納さん個人の魅力で客層も広く、肩のこらない雰囲気ということもあって、いつも和やかなムードだ。また、洋酒類が豊富に揃っていることも左党にとっては魅力がある。それに、料理も定評がある。今年の夏で満3周年を迎える「かてな」。益々充実して来た。

☆水割 ¥500 ビール ¥500 オールドボトル ¥7,000 スコッチボトル ¥8,000 ヘレステーク ¥3,500 ヘレ&焼野菜 ¥1,200
5:30P.M.~0:00A.M. 無休